
多面的機能支払 メールマガジン
「農村ふるさと保全通信」 第 134号(2024.3.1)
農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室



高めよう 地域協働の力！

多面的機能支払のメールマガジン「農村ふるさと保全通信」の第 134 号をお届けします。

――第134号の目次――

1. 活動組織の活動紹介

☆萩原^{はぎわら} 地区資源保全協議会（徳島県^{なると} 鳴門市^{おおのさちょう} 大麻町）☆

コウノトリと共存した地域づくりを目標の一つとし、コウノトリの保護に取り組む NPO 法人より助言をもらってピオトープの整備を始めました！ピオトープの場所の選定から始まり、更なる整備を進めています！

☆上仙田^{かみせんた} 地区環境整備会（鹿児島県^{いぶすき} 指宿市）☆

指宿市広域協定に属しており、構成員が高齢化していく中、役員や若手後継者が、ハンマーナイフモアなどを借り上げ、農用地・道路・水路等の維持管理作業を効率よく行っています！

2. 女性役員へのインタビュー

☆広域^{こういき} たかしま^{たかしま} 椋川^{むくがわ}（滋賀県^{いまづちょう} 高島市^{むくがわ} 今津町 椋川）☆

集落の外に出られた方にも参加を呼び掛ける、広域組織で所有しているラジコン草刈機を借りてくなど、参加者の負担が減るように工夫している活動組織にインタビューを行いました！

3. 活動組織の広報誌紹介

☆岩屋^{いわや} 谷川^{やにがわ} 蛭の里を守る会（兵庫県^{たんば} 丹波市^{さんなんちょう} 山南町）☆

景観形成の取組により、地域の美しい景観が保たれていることを写真で PR したり、用水路の補修工事について規模に応じた対応を細かく掲載したり、地域の活性化につながる情報を掲載しています！

【編集後記】

■ 1. 活動組織の活動紹介(1) ～^{はぎわら}萩原^{なる と おおあさちょう}地区資源保全協議会(徳島県 鳴門市 大麻町)～

～ 地 区 概 要 ～

当組織は徳島県鳴門市の西部、旧吉野川の沖積平野に位置し、米、レンコンの生産が盛んな地域です。田 26.8ha、畑 2.0ha、農道 4.9 km、水路 9 kmで保全活動に取り組んでいます。

～ 主 な 取 組 ～

- ◎ 本地域では、平成 27 年に兵庫県より飛来・定着したコウノトリと共存した地域づくりを目標の一つとし、農家 27 名、1 水利組合、2 非農家団体が集まり、令和 4 年度より取組みを開始しています。
- ◎ 農地維持活動では、田んぼの畦、農道、水路の草刈り及び水路の泥上げを主に実施し、地域資源、営農環境の良好な保全に努めています。
- ◎ 農村環境保全活動では、コウノトリの保護に取り組む NPO 法人より助言をいただいてビオトープを整備し、良好な生育環境及び餌場の確保を行うことにしています。
- ◎ 活動は、ビオトープの場所の選定から始まり、紆余曲折の末、巢の真下に決まりました。令和 5 年度は、次の巣作りに間に合うよう、魚道やポンド等の整備を行い、餌場の湛水を目指します。
- ◎ 今後も営巣が続き、地域の大切な環境資源となって地域住民の環境保全意識の高揚に繋がるよう鋭意取り組んでいきます。

【萩原地区資源保全協議会：代表 亀井俊一】



地域に定着したコウノトリ

※認定 NPO 法人とくしまコウノトリ基金提供



農道整備（再生砂利の敷き均し）



ビオトープ整備（資材搬入）



ビオトープ整備（あぜ波設置）

編集担当 SDGs コメント

農村環境保全活動で、ビオトープを整備し、良好な生育環境及び餌場の確保を行うことは、目標 15（地域における生物多様性を保全する。）、ビオトープづくりを通して地域住民の環境保全意識を高めることは、目標 4（地域内外の人に質の高い教育、生涯学習の機会を提供する。）に貢献しています。

NPO 法人を巻き込んだ取組は素晴らしいと思います！これからもビオトープの整備をさらに進め、コウノトリと共存した地域づくりが進むこと応援しています！



■1. 活動組織の活動紹介(2) ～^{かみせんた}上仙田地区環境整備会(鹿児島県^{いぶすき}指宿市)～

～ 地区概要 ～

当地区は薩摩半島の最南端に位置し、南に秀峰薩摩富士（開聞岳）、東に九州最大の湖（池田湖）を構え、また、回転式そうめん流し器発祥の地である「指宿市営そうめん流し」に隣接しています。

当地区では主にスナップえんどう、そらまめ、オクラ、かぼちゃ、キャベツ、ばれいしょなどが栽培されています。活動範囲は、畑 109ha、農道 17.3 km、水路 4.1 kmです。

～ 主な取組 ～

◎当会は、指宿市広域協定に属しており、構成員が高齢化していく中、役員や若手後継者が、ハンマーナイフモアなどを借り上げ、農用地・道路・水路等の維持管理作業を効率よく行っています。

◎開聞地域では、例年 7 月に畑地帯の一斉作業として、農道・水路法面の草刈りや土砂上げ等の奉仕活動を行っており、当会からは約 150 人が参加しています。

◎農村環境保全活動では、施設等の点検や区域内の清掃、また、多面的機能の増進活動では、郷土芸能の「手拍子踊り」の伝統文化の継承に取り組んでいます。

◎当地区は「いぶすき菜の花マラソン」開催コースにあり、菜の花の植栽を行い、イベントを盛り上げています。



共同活動による防草シート施工



若手後継者による機械での除草作業



郷土芸能「^{てべし}手拍子踊り」



菜の花の植栽

【指宿市広域協定運営委員会事務局】

編集担当 SDGs コメント 

郷土芸能の「手拍子踊り」について伝統文化を継承し、農村コミュニティの強化に取り組むことで目標 11（住み続けられる地域をつくる）に貢献しています。また、菜の花の植栽による景観形成活動に取り組み、地域住民以外の方が来訪する「いぶすき菜の花マラソン」を盛り上げることで目標 8（地域における所得向上や雇用の確保を図る）に貢献しています。

マラソンコースの途中に菜の花畑が広がっていると、マラソンも頑張れそうですね！
これからも、地域外の方の来訪を含めた地域づくりの取り組みを応援しています！



■2. 女性役員へのインタビュー ～^{こういき}広域^{たかしま}たかしま^{むくがわ} 椋川^{たかしま}（滋賀県^{い ま づ ち ょ う む く}高島市^{かわ}今津町^川椋川）～

組織の概要

活動範囲：田 20.4ha、草地 2.2ha
対象施設：水路 5.9km 農道 4km、
ため池 1 箇所
活動開始時期：平成 19 年活動開始

～インタビュー～

○話し手 井上 静代さん

（広域たかしま幹事 兼 集落代表）

○聞き手 滋賀県農政水産部農村振興課 職員

○実施日時：令和5年 12 月 15 日

場所：今津宮の森コミュニティセンター

Q：役員に女性が就いたきっかけを教えてください。

A：事務作業では特にパソコンを使っの作業が多く、
普段あまりパソコンに触られない方にしてもらう
のは厳しい、ということになり、以前から事務作業
を行っていた私が幹事になりました。

Q：役員を引き受ける際に抵抗はありましたか？

A：私自身はあまり農業自体に詳しいわけではないので
そのあたりのアドバイス等を求められると困るな
～とは思っていましたが、活動自体は引き受ける以
前から参加していたため、特に抵抗はありませんで
した。

Q：ほかに女性の方が活躍されていることはありま
すか？

A：共同活動に来ていただいたボランティアへの昼食の
炊き出しなど、イベントの際に集落のおばあちゃん
たちに協力していただいていた。集落内に「お
っきん椋川」という古民家を改修した集会所があ



代表の井上さん



水路泥上げの様子



集落の直営で水路補修



「おっきん椋川」での集会

り、そこを拠点に交流活動等をしていました。

Q：組織を運営する中で苦労していることを教えてください。

A：やはり活動に参加していただける方が減少していることが課題になっています。山奥の小さな集落であり、田んぼが川沿いに広がっているので、管理すべき水路や農道の延長が長いので、その維持をどうやって継続するかが悩ましい部分です。できるだけ多くの人に活動に出いていただくため、集落の外にでられた方も含めて活動参加を呼び掛けています。

Q：役員として心がけていることを教えてください。

A：共同活動に出て頂ける方も高齢になって来ているので、省力化できるように心がけています。例えば、広域組織で所有しているラジコン草刈機を借りてきて農道わきの草刈りに利用するなど、できるだけ参加してもらう方への負担が大きくならないよう、気を付けています。

Q：特に力を入れて取り組んでいる活動内容はありますか？

A：川沿いに農地が長く伸びており、水路と農道の延長が長いのが集落の特徴です。これらの水路、農道を自分たちで保全する活動に一番力を入れています。コロナ禍の前は他地域からボランティアを募っての水路の泥上げや、収穫祭等のイベントの開催や、小学校と連携して水路や川の生き物観察会を行っていました。また、山深い集落ですので、イノシシやシカによる獣害や水路脇の土手を崩されたりする被害が多く対策が必須です。私自身も猟師の免許を持っており、イノシシやシカが現れたら自分たちで追い払ったり獣害防止柵を補修したりして対応しています。

Q：活動を行ってよかったことを教えてください。

A：もともとこの地域では農業法人を中心に、集落ぐるみで水路や農地の維持活動を行ってきました。近年、だんだん活動できるだけの体力のある人が少なくなっている中でそれでもお米作りが継続できているのは、交付金を資材、機械の購入や草刈りの日当として使えるので、集落の人にも助けていただけているからだと思います。

Q：今後の展望や目標を教えてください。

A：集落の住民の数は少なくなり高齢化が進んできていますが、おいしいお米が作れる土地でもあるので、今後もこの土地での農業を続けていくため活動を続けていきたいと思っています。

【滋賀県農政水産部農村振興課：橋本宗樹】

編集担当 SDGs コメント

女性役員の抜擢だけでなく、共同活動時の炊き出し等の女性が活躍できる取組を行われていることから目標5（女性の参画により地域や活動組織の取組の可能性を広げる）に貢献する活動を積極的に行われています。また、他地域からのボランティアを募っての活動や小学校との連携等にも取り組まれていることから、目標3（やすらぎや福祉の機会を提供する）にも貢献しています。

井上さん、猟師の免許を持たれていてカッコいいですね！今後も、ラジコン草刈機の導入や集落外からの活動参加の呼びかけ等の工夫を行っていただき、多様な人材が参画できる素晴らしい活動が続いていくことを応援しています！



etc.

■ 3. 活動組織の広報誌紹介～^{いわやたにかわ}岩屋 谷川^{たんぼ} 蛭の里を守る会（兵庫県^{さんなんちょう} 丹波市 山南町）～■

広報誌の概要

- ◇ 年間の活動をまとめた「広報誌」を年に1回（3月）作成し、各戸に配布しています。
- ◇ 本組織は2つの集落から構成されていて、各集落の事務局が協力して広報誌を作成しています。
- ◇ 地域内の人口減少や高齢化により活動意欲・意識が低下しつつある中、組織の構成員以外の人にも多面的機能支払交付金の活動内容について知ってもらい、活動参加を呼びかけています。

～工夫しているポイント～

ポイント1

景観形成にかかる取組により、地域の美しい景観が保たれていることを組織の構成員以外にも理解してもらうため、写真を用いてわかりやすくPRしている。



ポイント2

多面的機能支払交付金の活動を知ってもらうため、用水路の補修工事について規模に応じた対応を細かく掲載している。

「岩屋・谷川」蜚の里を守る会 便り No. 3

■ ③ 用水路改修・補修工事報告

■ 岩屋鎌寺用水路工事

昨年度に引き続き公民館裏の用水路の改修工事。予算が付き次第の工事なので少しずつではありますが、前身しています。



そして、井堰付近の接合部の隙間が大きい箇所のパテ埋め作業も合わせて実施しました。



■ 奥溝下用水路補修工事



こちらはとてもパテで埋められる様な規模の用水路ではないので、業者さんをお願いしての本格的な目地詰め工事。やはり、プロの仕事、きれいな仕上がりですね。

■ ④ 岩屋農用地マップ作成

岩屋の圃場は村の中にあることもあって、なかなか悪魔じみた複雑さがあります。その為、農用地を図面に落とし込むことが難しく、なかなか整理するのも苦労する所ではあるのですが、試しに今回、Google マイマップに落とし込んでみました。



まだ農地の事をよくわかっていない人間が歩きまわって落とし込んだだけなので、まだ各水利の方々に協力いただきながら完成できればと思います。

■ ⑤ 農村コミュニティの強化活動に関して

岩屋産古代米が食べられるお店昨年度に引き続きご購入いただきましたので、まだしばらく食べられるのではないかと思います。ご興味ある方は是非。

■ ⑥ 令和6年度以降の活動に関して

現役員での本会活動は来年度が最後の年で、令和6年度から新役員での活動となります。本年度より岩屋女性会、来年度より岩屋子供会が評議員を辞退されますが、役員会の結果、評議員の体制の見直しを含め、引き続き岩屋・奥で活動していける様、協議していきたいと思っています。その為、ご相談することがあるかと思いますが、ご協力の程よろしく願っています。



無鹿リゾート

ポイント3

地元のジビエレストランで地域の食材が使われていることを紹介し、地域の活性化に取り組んでいる。

■ 編集後記 ■

読者の皆様、こんにちは。いかがお過ごしでしょうか。冬の寒さが和らぎ、春の兆しが少しずつ感じられるようになってきましたね。

私は、先日、静岡県に出張してまいりました。多面的機能支払交付金の活動を行い、大学と連携して地域を活性させている地区でお話を伺いました。大学生のような若い力は、農村地域に想像以上に大きな活力を与えると感じ、なにかできることはないかと模索する日々が続いております。年度末に 1 年目の職員が政策提案を行う場がありますので、よい提案できるよう引き続き頑張ります！



出張に行った日は雪が降りました！
茶畑は雪をうっすら被り、とても美しかったです！

◇多面的機能支払メールマガジン「農村ふるさと保全通信」バックナンバー◇

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html

バックナンバーはこちらの二次元バーコードからご覧いただけます！→

◇「多面的機能支払交付金のロゴマーク」◇

ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。

活動内容の紹介や広報の発信などに、どんどんご活用ください！！

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/attach/pdf/tamen_siharai-31.pdf

◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は以下のサイトから。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

手続きにはパスワードが必要です。

お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇多面版 SDGs アイディアシート（案）◇

SDGs アイディアシートのダウンロードは以下のサイトから。

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/jirei_SDGs.html

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300 字程度）等に関するメールをお待ちしております！！

tamen_ml@maff.go.jp



高めよう 地域協働の力！

-----【発行】-----
〒100-8950 東京都千代田区霞が関 1-2-1
農林水産省農村振興局整備部農地資源課
多面的機能支払推進室（担当：細川、渡邊）
TEL：03-3502-8111（内線 5493）
